

「カーネ愛農1号」栽培マニュアル

## 日持ち性の優れるスプレーカーネーション 「カーネ愛農1号」の特性と栽培技術



日持ち性が優れるピンク色のスプレーカーネーション「カーネ愛農1号」(2015年9月出願公表、流通名:ドリーミーブロッサム)を育成しました。

需要が高い“淡いピンク色”の花色で、ブライダルを始め幅広く利用できる、商品性の高い品種です。

茎の伸長性がよく、硬いので、高品質、多収生産が期待できます。

# 品種の特性

- 需要が高い“淡いピンク色”の花色。
- 花弁数が多く、花径はやや大きい。
- 茎は太くて硬く、伸長性がよい。
- 側枝数が既存品種に比べて少ない。
- 開花が早く、年内および年間の収量が多い。
- 秀品率が高い。
- 日持ち性は一般的な品種の3倍程度と極めて良い。



図1 「カーネ愛農1号」の草姿



図2 「カーネ愛農1号」の花

表1 形態的生態的特性

形質	特性値	測定値
開花時草丈 (cm)	高	114.4
側枝数	少	2.4
茎長 (cm)	中	42.3
茎の太さ (mm)	やや太	6.0
節間長 (cm)	中	8.2
葉色	緑	-
花弁数	中	37.8
花弁縁の形	鈍鋭混在	-
外花弁の長さ (mm)	中	45.1
外花弁の幅 (mm)	やや広	33.8
花弁の地色 <sup>1)</sup>	淡ピンク	0402
開花時期 (早晩性)	早生	-
花柄の長さ (cm)	中	22.5
折れの難易	やや難	-

特性の表記は、農林水産省種苗特性分類調査報告書 (審査基準) による。調査：2015年3月2日 (n=10)  
1) JHSチャート

表2 開花日及び収量

	開花日 <sup>1)</sup>	下垂度 <sup>2)</sup> (11~12月)	収穫本数	
			年内 本/株	年間 <sup>3)</sup> 本/株
カーネ愛農1号	10/7	1.1	2.8	8.1
チカス	11/21	1.1	0.6	7.5
シルエット	11/16	2.3	1.5	6.6

1) 供試株の10%が開花に達した日。  
2) 切り花頂部より、45cmの位置で水平に支え、先端の下垂程度を水平面から測定し、0~10°を1、10~20°を2、20~30°を3、30~40°を4とした。  
3) 収穫期間は、5月末までとした。  
定植：2016年6月26日、1回目摘心：7月11日、2回目摘心：8月29日(5本整枝、うち2本摘心)。



図3 月別収量の比較

定植：2016年6月26日、1回目摘心：7月11日、  
2回目摘心：8月29日(5本整枝、うち2本摘心)。

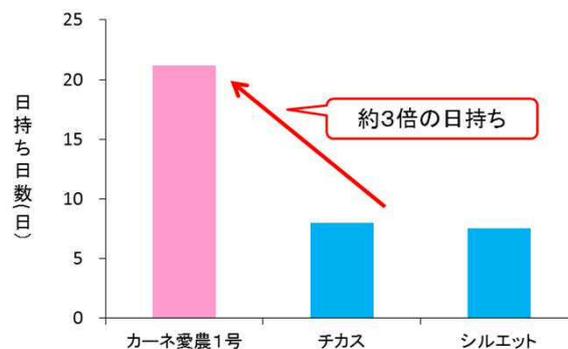
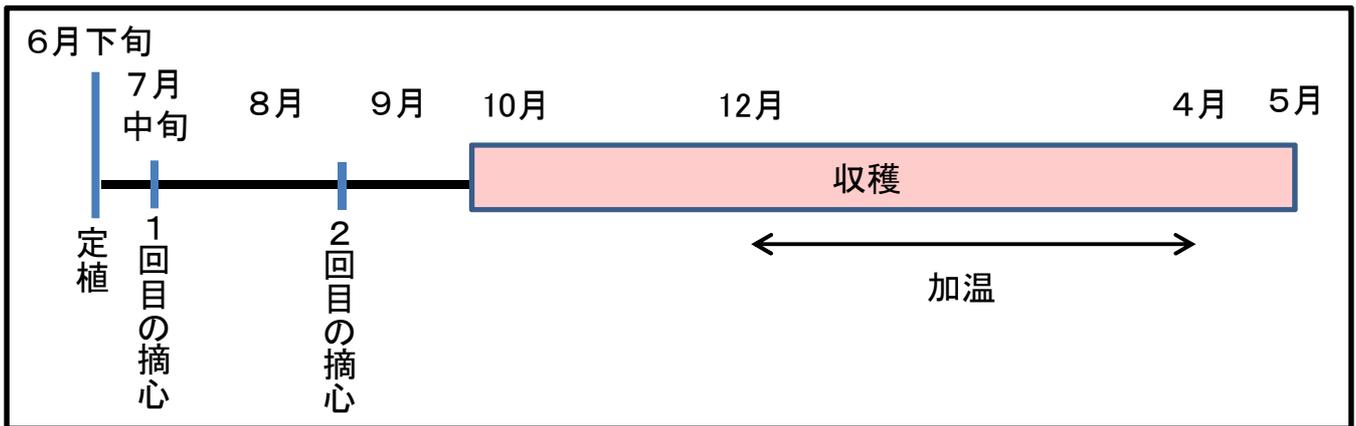


図4 切り花の日持ち日数

STS無処理、気温25°C、相対湿度60%、12時間日長1000lx条件下、1.5花開花で収穫し、3花まで観賞価値を失った日。

## 【秋～春切り作型における「カーネ愛農1号」の作業体系】



## 栽培管理

### 【定植】

- ・土壤消毒を行った健全ほ場に健全な苗を定植する。
- ・栽培密度は慣行と同様とする。
- ・定植は愛知県での一般的な作型（秋～春切り）では6月中に行う。
- ・根が活着するまでは手灌水を行う。

表3 定植日の違いが収量におよぼす影響

定植日	1回目 摘心	2回目 摘心	開花日 <sup>1)</sup>	収穫本数	
				年内 本/株	年間 <sup>2)</sup> 本/株
6/26	7/11	8/29	10/7	2.8	8.1
7/8	7/25	9/3	11/7	1.2	5.9

1) 供試株の10%が開花に達した日。

2) 収穫期間は、5月末までとした。

※試験期間：2016年6月～2017年5月

### 【摘心】

- ・定植後3週間を目安に下から4～5節のところ摘心をする。
- ・摘心後、1次分枝は4～5本を残して地際の芽を間引く。
- ・2回目の摘心は8月中旬から9月中旬にかけて、生育の早い枝（1次分枝）から6～8節残して1～3本を折り取る。

### 【栽培管理】

- ・低温により花色が薄くなるので、冬期の加温温度は10℃以上にする。



図5 加温温度による花色の違い

## 【収穫・出荷調整】

- ・1番花の収穫方法は2番花の芽を1～2本残して収穫する。  
しかし、芽を残さずに長く(60cm)収穫しても、年間の収量は確保できる。  
1番花の収穫方法によりその後の収穫のピークがずれるので、これらを組み合わせることにより、安定した収量の確保が可能である。
- ・節から折れやすい。特に冬期は折れやすいので注意する。
- ・収穫後はSTS処理を行う。

表4 1番花の収穫方法による収量、品質への影響

収穫方法	収穫本数		秀品率 <sup>1)</sup>	
	年内	年間 <sup>2)</sup>	年内	年間
	本/株	本/株	%	%
1芽残し	2.8	8.1	19.1	70.3
2芽残し	2.6	8.2	14.3	69.4
60cm収穫	3.3	8.8	66.3	86.3

1) 秀品率は年内は切花長60cm以上、年明けは70cm以上、下垂度1、着色花蕾数4以上のものとした。

2) 収穫期間は、5月末までとした。

※12月第1週までは試験区のとおり収穫し、その後は芽を残さず元から採花した。

定植: 2016年6月26日、1回目摘心: 7月11日、

2回目摘心: 8月29日(5本整枝、うち2本摘心)。

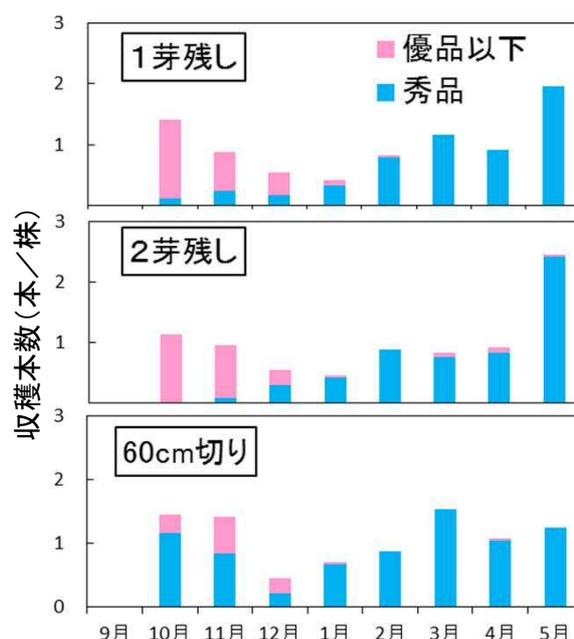


図6 1番花の収穫方法の違いによる月別収穫本数

定植: 2016年6月26日、1回目摘心: 7月11日、2回目摘心: 8月29日(5本整枝、うち2本摘心)。

## 【病虫害対策】

- ・土壌病害を防ぐため、定植前には土壌消毒をしっかりと行う。
- ・既存品種と同様に、ハダニ類、アザミウマ類等の早期発見、早期防除に努める。
- ・薬剤感受性の低下を防ぐ為、薬剤のローテーション防除を心がけ、散布する際は葉裏までしっかり薬液がかかるようにする。

## 「カーネ愛農1号」の日持ち性が良い理由

- ・カーネーションは花が老化する時に、自らエチレンを生成します。「カーネ愛農1号」は、その生成量が極めて少なく、他の品種と比べて日持ち性が良いのはこのためです(表5)。
- ・STS処理を行わなくても、STS処理を行った既存品種より日持ちは長いです(図7)。

表5 老化時の花におけるエチレン生成量

品種名	エチレン生成量 (nL/gFW・h <sup>-1</sup> )
カーネ愛農1号	検出限界以下
シルエット	66.7 ± 21.4
チカス	27.8 ± 8.3

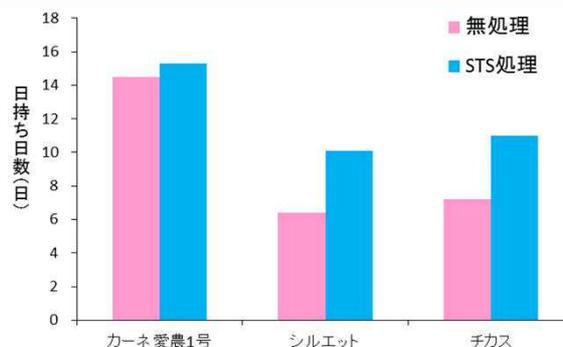


図7 STS処理による日持ち日数

## 苗の許諾契約及び購入について

以下の3社にて「カーネ愛農1号」の苗を販売しています。

- フジ・プランツ株式会社 TEL: 0563-72-3611
- 株式会社 M&Hブルーメン TEL: 0551-36-5587
- 有限会社 美香園 TEL: 0823-57-2204



品種の利用許諾については、お問い合わせください。

連絡先: 愛知県農林水産部 農業経営課技術調整グループ

TEL: 052-954-6410

「カーネ愛農1号」は愛知県農業総合試験場と国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が育成しました。

開発には、共同研究「萎凋細菌病抵抗性および花持ち性に優れたカーネーション品種の育成に関する研究」(2006~2011年)及び農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業「良日持ち性および萎凋細菌病抵抗性を有するカーネーション品種の開発」(2014~2016年)を活用した。

2017年11月初版発行

編集・発行

愛知県農業総合試験場園芸研究部花き研究室

〒480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

TEL: 0561-62-0085 (代表)